



# 新年明けまして おめでとうございます

## 「社長メッセージ」

### 「新年のごあいさつ」



新年明けましておめでとうございます！  
皆様方にはご家族お揃いにて新しい年をお迎えされたことと存じます。旧年中、皆様方に「タカジョウ」を応援して頂いたこと心より感謝申し上げます。

さて、昨年を表す漢字は「変」、激変のはじまりの年でした。米国のサブプライムローン問題から米国主導の金融資本主義が崩壊し、金融だけでなく自動車産業をはじめ各業界に影響が出ています。今年は「100年に一度の変化」と言われるように、私達を取り巻く環境が大きな変化に入っていくのではないかと感じています。今までの当たり前や世の中の価値観が変化していくかも知れません。地球環境を破壊したり、人の気持ちを大切にせずに、物質的に豊かになる事だけでは生きれないという世界になっていくのではないのでしょうか？ そんな価値観の変化を感じる中、私は自分の娘達の寝顔をみながらいつも考えます。私たちの子供達の未来が今より少しでも良くなっていくように！その子供達の子供達の未来も…。雇用問題、年金問題や環境問題などを考えると不安と恐怖を感じてしまいま

## 《品質方針》

私達は、お客様満足を第一と考え、心のこもったサービスと技術及び安心で快適な住みよい環境を提供します。

す。しかし、そんな中にも心に目を向けて、優しさや希望や夢を持って生きる事も可能だと思います。この激変の中で、私は、自分の中にある本質に気づいて働いていく事が求められてくると・・・。

自分の中にある本質で働くとは、自分が誰かに優しくしたいという思いやりの気持ちだったり、お客様や家族や友人達や仲間達への愛情だったり、応援する事かも知れません。海や川、緑の山々を大切に感じる心かも知れません。自分達が毎日の生活、仕事の中で、自分たちが楽しいと感じる仕事、誰かを喜ばすことで優しい気持ち、嬉しい気持ちになる行動が自分の中にある本質で働くことだと思います。そして、自分達の行動のひとつひとつが誰かの生活に、未来の世界につながっている事を忘れないように！

今年1年、タカジョウのみんなと努力して良い仕事をしていきたいと思っています。まだまだ、未熟な社長ですが、お客様が、スタッフのみんなが、嬉しくなるような仕事、優しくなるような仕事を目指して努力しますので、本年も何卒、ご支援、ご指導よろしくお願いいたします。

代表取締役 長井正樹

## 株高浄 第40期品質目標

### 〇挨拶

私達は自ら進んで笑顔で挨拶をします。挨拶は良い人間関係を築く為の第一歩です。出社時、外出時、帰社時、お客様・スタッフが来社、帰社する際に、相手の顔を見て心から挨拶することで相手も自分も気持ち良くなります。

### 〇問題発見

私達は問題が起こった時に喜びます。なぜなら問題のない組織は成長が止まってしまうからです。会社が成長する限り、問題点は生じます。問題点は組織を成長させる為の素晴らしいシグナルです。問題を早く見つけ、防ぐよう改善することが組織の成長です。この貴重な情報を独り占めしないで、全員で共有することを心がけます。

### 〇チームワーク

私達はチームワークを大切にします。メンバーは、尊敬できる仲間です。ですから、「私は担当外だから知りません。」とは言わず、「私もやりましょう！何か手伝いましょう！」と、できるだけ協力する事が、組織中心に考えて仲間を大切にする事です。仲間を大切にすることは自分を大切にする事につながります。

### 〇感謝

私達はお客様や仲間の良いところを公平に見つけ、「ありがとう」という感謝の気持ちを持ちます。お客様や仲間の良いところを知れば知るほど、自分自身がより良い行動ができます。私達が、感謝の気持ちで相手の期待していることを上回ったとき、感動を与えることができます。





毎年、この時期になるとテレビのニュースで「火災発生により誰かが亡くなりました。」とよく目にします。一番可哀想なのが幼い子供が亡くなる事。どんなに分かっていてもつい油断してしまうのが人間で、子供を巻き添えにしてしまうのは日本人の悪い癖のように思えます。気の持ちようなんですよ。うけどね・・・。



火災はちやうととしたことからでも発生します。空気が乾燥しているとよく燃えやすいので、敢えて今一度火事を出さないよう気を付けましょう。

防火立役の環境づくり  
家のまわりは明るくして  
いつも整理整頓を!



家のまわりに燃えやすいものを置かない。放火される恐れがある。



寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。寝る前に再度火が完全に消えてるか確認を。

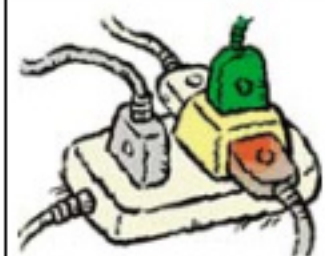
こんろのそばを離れるときは、  
必ず火を消しましょう!



天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。この時に限って電話や訪問者がいるよね。



ストーブ周辺には、燃えやすいものを置かない、近づけない。



電気器具のたこ足配線なるべくはしない。やむを得ない時は、小まめに埃堆積を防ぐように!

「我が家からは火を出さない!」と思っけていても放火される危険や隣家からのもらい火の危険が潜んでいます。もちろん、自ら注意し、火を出さないような対策をとっておくことは重要なことですが、それだけでは自らの財産を守りきれないこともあります。

発生原因の上位には「コンロ」や「たばこ」などよく聞く原因があがっていますが、火災は思わぬ原因で発生することもあります。コンセントの部分に溜まったホコリが原因で発火する「トラッキング現象」による火災、ガラス製の置物に直射日光があたり、レンズの役割をはたし火災が発生する「収れん火災」など、思わぬところに出火する原因が潜んでいます。まさしく、他人事ではありませんよ。

#### ■トラッキング現象とは

コンセントにプラグを差したままにしておくと、ほこりが溜まり、そこに湿気加わることで、プラグの両極間の絶縁状態が悪化して放電が繰り返し生じることがあります。

この現象がトラッキング現象です。トラッキング現象による火災を防ぐためには、コンセントに差したままのプラグに、ほこりなどが着いていないか点検、清掃することが必要です。

#### ■収れん火災とは

太陽光線が凹面状、凸面状、球面状のガラス製品などにあたり、レンズ効果により燃えやすい物に焦点を結んだ結果発火し、発生する火災をいいます。花瓶や猫よけの水入りペットボトルが発火の原因になった例もあります。直射日光のあたる窓際にガラス製品を置かないことで防ぐことができます。





# 高浄社長のお薦めする 本のコーナー



『強く、生きる。』

(著) 渡邊美樹  
サンマーク出版

チエック！  
抜粋

私、長井正樹は毎月最低でも1冊以上の本を読んでいます。読書嫌いだっただ私も社長になった途端に読書が大好きになりました。問題解決のヒントが本には沢山。もちろん、知識を持っていくかどうかではなく、実践しているかどうかが重要だと思っていますが、そんな私が独断と偏見で読んだ本のポイントと感想を書いていきます。皆様も暇つぶしにこのコーナーをどうぞ。

人は必ず死ぬ。人間の時間は有限であり、しかも、その生命の終焉は自分が考えるよりもはるかに間近にあるものだ。

一日の些事はそのまま人生の大事に直結していく。

誰と比較しても、どう自分を装ってみても、自分は自分以上ではなく、自分以下でもないのです。だから比べるのなら、「昨日の自分」と比べるべきです。

凡事ができない人間に大事は望めない。客商売の最大で最終の目的は、ひとえ

## ■目次■

- プロローグ 夢を追ひ、夢に追われて生きてきた
- 第1章 本気で生きれば世界が変わる
- 第2章 夢とともに人は成長する
- 第3章 挫折の数だけ成功に近づく
- 第4章 お金よりも「ありがとう」を集めたい
- エピローグ 根っこを張って、強く生きる

にお客さまの喜びです。それに奉仕できただか否か。

それですべての仕事の質は測られます。

お客様の満足や喜びに到達しなかった仕事は、いくらがんばっていても価値はゼロに等しいのです。

夢を手に行けるか否かは、「もうダメだ」と思ってから、さらにあと五センチ進む粘り強さを発揮できるかにかかっています。

人は孤独の中で成長するものです。ひとりでは想像力の母体でもある。

だから一日に三十分でもいいから、群れから離れて、一つの個として己を見つめ、己と向かい合うべきです。

自分自身と対話する時間をもたないと、人間は思いや考えを深めることができないのです。

自分の欲を最小限に、人への欲を最大限に。

成功者とは成功を積み上げてきた人ではなく、山ほどの失敗をしてもくじけなかった人のこと。

信じて、疑えば傷は小さくてすむかもしれない。しかし同時に、得るものも小さい。誰も信じなければ、誰からも信じられず、誰からも信じられなくてもいい。疑うことなく信じれば、少しの損失と引き換えに大きな信用を得られる。

人は何かをしても良かったときより、自分が人のために役立っているとき実感できるときの方が深い喜び、深い幸せを感じるもの。

勉強よりもまずあいさつのできる人間になる。



## 長井正樹「コメント」

この本は、僕が尊敬する経営者の一人であるワタミの創業社長、渡邊美樹さんが、自分の人生や仕事での経験をもとに語った人生論です。

渡邊社長は、「夢」を持つことの大切さをいつも語っていますが、「夢を追うプロセスで人は成長し、心を磨き、その人間性を高めていく」からと言っていきます。

つまり、夢の実現が目的なのではなく、自分を成長させるそのプロセスこそが大事だ……。

昨日の自分より一歩成長すること、凡事を徹底すること、あきらめないこと、くじけないこと、人を信用すること……。

大きな夢を追うことも大切ですが、目の前のことをおろそかにしたり、自分を守るために人を疑ったりすると大事は成し得ない……。

多くの挫折を乗り越えながら成功した教訓には、今の時代

に大切な目の前の人や出来事、仕事を大切にすること、本当に大切な考え方があろうに感じました。今年も一つ一つの目の前の仕事に一生懸命に……改めて感じた一冊です。

